

福智町長選挙

福智町議会議員補欠選挙

大切な一票
忘れずに投票を!



問 福智町選挙管理委員会 ▶ ☎ 22-0555 (役場代表)

町の未来に、
あなたの一票。

【投票日】

3月14日(日) 7時～20時

【投票できる人】

満20歳以上(平成2年3月15日生まれまで)で、平成21年12月8日まで
に福智町に転入手続きをし、引き続き福智町に住居基本台帳の登録がある人。

【投票所】

- 第1投票所/金田体育館 ▶ 金田地区、神崎地区
第2投票所/方城中学校 ▶ 伊方地区(一部除く)
第3投票所/方城支所 ▶ 弁城地区、伊方地区の一部
第4投票所/上野小学校 ▶ 上野地区
第5投票所/中央公民館 ▶ 赤池地区、市場地区
第6投票所/中央公民館 ▶ 中尾地区、赤池ニュータウン

【対象地区】



【期日前・不在者投票】

期間▶ **3月10日(水)～3月13日(土)**

時間▶ **8時30分～20時**

場所▶ **金田保健センター**

▶ 投票会場には、事前に送られてくる「投票入場券(はがき)」を持参してください。

▶ 投票所は入場券に記載しています。確認してお越しください。

▶ 入場券をなくしたり、忘れたときは、投票時に投票所受付係まで申し出てください。

【告示日(立候補受付)】

日時▶ **3月9日(日)**

8時30分～17時

場所▶ **役場本庁3階 301会議室**

【立候補予定者説明会】

日時▶ **2月16日(日) 13時30分～**

場所▶ **役場本庁3階 301会議室**

方城中2年
小野太智さん



一生懸命生きるために

主な内容

人が一生懸命生きることができる環境とはどのような環境だろうか。これを考えるきっかけは、アジア各地の貧しい環境で暮らす子どもたちの様子を伝える活動をしている池間哲郎さんの「貧しい人々を助けてあげたい。という思いを持って言いたいのではない。この貧しい人々のように最期まで一生懸命生きてほしい」という言葉からだ。人が一生懸命生きるには、まずそのための環境がなくてはならないと考えた。ぼくたちはお互いを思い合って生きているだろうか。ぼくの生活を振り返ってみて気がなったことがある、それは言葉だ。普段ぼくたちは、友だちに向かって「バカ」「アホ」「死ぬ」「殺すぞ」といった怖い言葉を平気な顔で使っている。冗談だと分かっているけど、ぼくも言われるとカッとやって言い返してしまう。人を傷つける言葉を使うことがなくなれば、心が穏やかになり、みんながそれぞれの人生を一生懸命生きることができるのではないだろうか。ぼくは、一生懸命何かをしようとする人たちが気持よくいろいろなことに打ち込める社会にしたい。ぼくがこう考えても、ぼく一人ではこの大きな社会を動かすことはできない。だけど、周りの人がこのように考えてくれたら大きな社会もきっと変わる。中学2年生のぼくは、これからたくさんの人と出会うだろう。みんなが一生懸命生きることができる社会にするために、今ぼくを大切にしてくれる人たちや、環境への感謝を忘れずに生きる。そんなところから初めの一歩を踏みだしたい。

金田中2年
井上悠さん



「薬物と喫煙防止」について

主な内容

最近、薬物に関するニュースが多くなったと思います。わたしは、こんな危険なものにどうして手を出してしまうのかなと思います。わたしたちの学校では「未成年者で薬物に手を出す人の第一歩が喫煙にある」ということで、保健部で「喫煙防止学習会」の開催に取り組みました。わたしは保健部なので、プレゼンテーションのパワーポイント作りと劇のナレーターという役割をしました。この学習を一人でも多くの人が理解し、喫煙から薬物乱用に結びつかないようにしてほしいと思いました。薬物乱用防止については、わたしたちだけでなく地域全体の活動がやってくれたらと思います。例えばポスターを貼る、各地区の中で話し合いをしていくなど方法はあると思います。そして、国全体の薬物禁止の活動が、もっと行えると思います。薬物は外国から持ち込まれることが多いので、飛行機での荷物検査や麻薬取り締まりの犬を使っている対策をもっと厳しくしてほしいと思います。また、薬物の危険性が、もっともっとみんなにわかるような情報を提供してほしいと思います。薬物は、自分だけでなく、他の人も傷つけるということを誰もが理解しなければと思います。芸能人による薬物乱用事件により、今まで以上に薬物についての関心が高まっている今「薬物は身近にあって、どんなに怖いものなのか」をしっかりと学習していきたいです。そして、みんなで互いに助け合って薬物禁止を広めていきたいと考えています。

赤池中2年
平戸祐大さん



あいさつの大切さ

主な内容

ぼくは家族の中で、毎日朝起きた時には「おはよう」夜寝るときには「おやすみ」と必ずあいさつをするように習慣づけています。なので、ぼくはあいさつの大切さを主張したいと思います。ぼくは、職場体験のマナー講座で「あいさつは人間関係を円滑にするものであり、社会人として大切なものなので、ちゃんとあいさつをしなければいけない」と教わりました。家の中でできないあいさつを外で積極的にしていくのは難しいことなので、まずは家族の中からあいさつが大事だと思います。また、あいさつは近所の人とのつきあいなどでも親しくなる第一歩で、大切になってくると思います。ぼくは近所の人にちゃんとあいさつをするように心がけています。なので、近所の人たちにはかなり仲良くしてもらっています。また、友だちの家に遊びに行ったときにも、きちんと友だちの親にあいさつをするように心がけています。社会に出れば、さまざまな人と付き合っていくことになります。その第一歩として、あいさつはとても重要なものだと思っは考えています。家族の中から、近所の人たちへ、そして社会の人たちへあいさつをとおして多くの人々との心を深めていくことができると 생각합니다。そのことで人生を豊かに生きていくことができるかもしれません。あいさつが人を積極的にし、あいさつをすることで人の輪が広がり、元気が広がっていけばとてもうれしいので、これからももっとあいさつを積極的にしていきたいと思っています。